

2017年度【エグゼクティブリーダー育成塾】の講座

- 当塾の目的：優れたビジョンを構想し、チームを編成し、チームメンバーを育成し、その目的を共有し困難なプロジェクトを目標通りに成し遂げ、責任を全うするリーダーの育成を目指します。
- 当塾の特徴：AI、IoT進展で激変する近未来の社会経済を見据え、企業にとってのパラダイムの崩壊を乗り越える経営、ビジネスのあり方とそれを実践し成し遂げるリーダーのあり方を探求し学びます。
- 新リーダー像：これからの企業経営においては、従来型リーダーのみならず、異能、多様な考え方をもっている人財を意図的に集め、ダイバーシティを担保するリーダーが必要です。社会の変化、個々人の意識の変化、新技術のインパクトなどの理解できるリーダーが求められます。

I. 経営学

1. 経営の設計学		コマ数：5回
狙い	未来を拓くリーダーを育成します。価値を生み出す正しい仕事の方法を獲得していただきます。正しい仕事の方法は職種によらず共通のものです。リーダーになるためのマネジメント法を学びます。	
講師	宮田 秀明 東京大学名誉教授 社会システムデザイン(株)社長 アスクール(株)取締役	
講義内容	①価値創造プロジェクトのマネジメント ・創造のプロセス ・コンセプトとモデル ②ビッグデータによる全体最適経営 ・デジタルが複雑非線形問題を解く ・全体最適システム ・システムとストラクチャーとメカニズム ・経営シミュレーターと未来予測 ③リーダーシップと人材育成 ・リーダーシップとは ・リーダーに必要な構想力 ・リーダーに必要な変える力 ④組織マネジメントとチームワーク ・プロジェクト、ビジョナリーモデルとルール ・組織マネジメントに必要なこと	

II. 近未来の技術、企業環境、経済

2. IoT、AI、ロボットの進展と近未来社会		コマ数：1回
狙い	近未来社会で、人工知能が人間に代わって仕事する時代に、子供の教育がどうあるべきか、週休5日の時代に 人間の過ごし方はどうあるべきか？ 最新の人工知能技術や IoT デバイス技術のデモを交えながら講義します。	
講師	武藤 佳恭 慶應義塾大学教授	
講義内容	1. 既存のビッグデータ解析と人工知能によるビッグデータ解析の違いの比較(ビッグデータ解析アナリストも失職)、 2. アーティストさえ駆逐する、人工知能による絵画のデモ 3. オープンソースとは。 4. IoTデバイス (ドローンセンサー、気象センサー、3Dプリンタ・レーザー彫刻機械)のデモと解説 5. 超安価なLPWAN:Low Power Wide Area Network (Sigfox) のデモ	

3. 新しい経済学		コマ数：1回
狙い	A Iの進化、IoT、第四次産業革命（汎用A Iの出現と普及）等が進展した場合、社会や経済がどのように進化するのだろうか。産業構造や働き方がどのように変わるのだろうか。10年後、20年後、30年後の経済の変化を予測する。	
講師	井上 智洋 駒澤大学経済学部講師 専門：マクロ経済学、貨幣経済理論、成長理論。人工知能と経済学の関係を研究するパイオニアとして、学会、政府の研究会で発表・発言。A I社会論研究会共同発起人。	
講義内容	<p>—A Iと経済の未来—</p> <p>①A Iはどのように進化するのか</p> <p>②A Iの進化が経済に及ぼす影響</p> <p>・経済に及ぼす影響 ・雇用の変化 ・個人生活に及ぼす影響</p> <p>③第四次産業革命後の経済</p> <p>④2025年、2035年、2045年のA Iの進化と企業、産業構造の変化</p> <p>⑤A Iとベーシックインカム</p>	

Ⅲ. 新リーダー論

4. 新リーダー論		コマ数：2回
狙い	<p>近未来に訪れるであろうビジネス環境、働き方の変化に伴う、次世代経営リーダーの育成を従来型のビジネススクール型のビジネススクール流の経営リーダーとは異なる視点で検討します。多様なタイプの異なるリーダーを育む施策や育成支援のメカニズムをダイバーシティ開発の視点で検討していきます。</p> <p>例えば事業創造、地域活性化、多様な人材のモチベーション開発、社会の変化を理解する力、IoT、AI、ロボットといったといった新しい技術の動向と組織活動、短期的な成果だけでなく、長期的な組織成長・革新に対する貢献メカニズムなどの新しい切り口からの教育カリキュラムが必要とされます。</p> <p>新リーダー教育のカリキュラムで、このような変化を概観し、新しいリーダーに求められる能力/コンピタンスとその開発、そしてそれを引き出し実践する組織インフラを2回にわたって講義いたします。第1回目の講義では、この新しいリーダーに必要とされる、組織の背景、組織の現状の理解、これからの方向性の展望と、これからの組織デザインを検討し、第2回は、具体的な次世代経営リーダー像の把握と行動改善計画に関して検討いたします。</p>	
講師	花田 光世 慶應義塾大学名誉教授 (社)SFCフォーラム代表理事	
講義内容 1	<p>①2025年～2030年問題を考える：その社会は、経営組織は？</p> <p>②現状の人材ポートフォリオ戦略とこれからの人材ポートフォリオ戦略</p> <p>③新しい時代の働き甲斐、従業員のモチベーションの源泉は？</p> <p>④これからの組織を牽引する多様な役割</p> <p>⑤2025年～2030年のあなたの企業と企業を取り巻く環境を検討する</p>	
講義内容 2	<p>①次世代経営リーダーとしての力の棚卸1：ミニ360度フィードバック</p> <p>②次世代経営リーダーとしての力の棚卸2：あなたの変化対応力は？</p> <p>③次世代経営リーダーとしての力の棚卸3：あなたの関係性資産の強さは？</p> <p>④現状のあなたの力をさらに開発し、発揮させる方策とは？</p> <p>⑤あなたの向こう5年間のキャリア充実計画を</p>	

IV. ビジネススキル

5. 組織コミュニケーション		コマ数：2回
狙い	さまざまなバックグラウンドや価値観を持った人材が増える中、多様性のあるメンバーとどのように関わり、共有する目標やゴールに向けて巻き込み支援していくノウハウを学ぶ。また、戦略的プレゼンテーションでは自分の状態を整えるノウハウを学び、自信を持ってプレゼンに臨むことができるようになるスキルを習得する。	
講師	二階堂 忠春 (社)日本NLP能力開発協会代表理事 デジタルハリウッド大学院客員教授 東北福祉大学特任准教授	
講義内容	<p>①チームビルディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼と共感を呼ぶチームのコミュニケーション ・チームメンバーの意識を変える思考フレーム ・多様性のあるチームメンバーとの自己理解・他者理解 ・組織とチームの活性化のために <p>②戦略的プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の話し方を知り、上体を整える ・優れたプレゼンに学ぶ「心を動かす話し方」とは ・分かりやすく伝える、説明力を鍛える ・ストーリーを語る 	

6. 経営心理学		コマ数：1回
狙い	感情と心理について体系的に理解し、良好な人間関係を築ける人材を育てる。ビジネス現場で使えるレベルまで心理学、脳科学が発達し、ビジネスでの活用事例増えてきており、日米の企業で導入し始めている。	
講師	藤田 耕司 公認会計士 心理カウンセラー (社)日本経営心理士協会代表理事 F S G税理士法人代表社員 F S Gマネジメント(株)社長	
講義内容	<p>①経営心理学概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーになるための経営心理学 ・人を動かし導く要素 ・「仕事ができる」ということの意味 ・情緒的対話 ・論理的対話 <p>②リーダーとして人望を得るために必要なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者を認めることと自分を認めることとの関係を知る ・他者との関係の中に自分との関係を見ることが出意識が変化する ・リーダーとして人望が得られるようになるために必要なことを学ぶ <p>③有能な部下を育てる上司がやっているコーチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部下に目標を持たせることの重要性を理解する ・部下から安心と信頼を感じてもらえる上司になる ・部下が自発的に動くようになるための指導法を学ぶ 	

7. 経営に必要な会計力		コマ数：2
狙い	<p>経営にとって会計は必須ですが、そこで必要なのは決算書の読み方ではありません。必要なのは、会計情報を経営判断に適切に活かす力です。</p> <p>通常の決算書ではかえって経営判断を誤りかねません。本講では、経営に必要な会計力である管理会計のエッセンスをさまざまな演習を通して学びます。</p>	
講師	<p>金子 智朗 公認会計士 税理士</p> <p>ブライトワイズコンサルティング合同会社代表</p> <p>名古屋商科大学大学院ビジネススクール教授</p> <p>亜細亜大学大学院アジア・国際戦略研究科非常勤講師</p>	
講義内容	<p>①会計情報に基づく意思決定の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理会計とは何か ・ピザ屋はいくら損をしたか？ ・原価割れでも受注すべきか？ ・損益分岐点と価格戦略 <p>②管理会計を業務管理に活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタチはなぜ重要か ・強化・撤退すべき部門はどこか？ ・人の評価をどのようにすべきか？ ・財務的指標を行動指標に落とし込む 	

開催予定概要

- ・開講期間：2017年6月～11月
- ・対象者：30～40代（マネージャー前後）
- ・開講時間帯：1日2回開催 10:00～13:00 14:00～17:00
- ・1塾1講座（コマ）の時間：3時間
- ・講座数（コマ数）：12～16回（2コマ/1日：7日）
- ・塾生募集人数：15人（10人以下の場合は中止も）
- ・塾参加費：480,000円/1人